

令和2年2月13日

御嵩町長 渡邊 公夫 様

御嵩町新庁舎等建設基本設計・実施設計業務委託に係る
公募型プロポーザル評価委員会
委員長 寺本 公行

御嵩町新庁舎等建設基本設計・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザルの審査結果及び審査講評について

1. 審査結果

御嵩町新庁舎等建設基本設計・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザル評価委員会（以下、「評価委員会」という。）は、令和2年2月4日に開催した評価委員会において、第一次審査で選定した業者から提出された技術提案書等について、各者からのプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、審査を行った結果、「受注候補者」及び「次席者」を次のとおり特定しましたので、報告します。

受注候補者： 株式会社 東畑建築事務所 名古屋事務所

次席者： 株式会社 石本建築事務所 名古屋オフィス

2. 評価点数

参加者	点数（750点満点）	備考
株式会社 東畑建築事務所 名古屋事務所	616点	受注候補者
株式会社 石本建築事務所 名古屋オフィス	572点	次席者
A社	528点	
B社	506点	
C社	440点	

3. 評価委員会名簿

氏名	所属・役職	備考
寺本 公行	御嵩町副町長	委員長
小林 智尚	岐阜大学大学院教授	
辻 充孝	岐阜県立森林文化アカデミー准教授	
伊左次 一郎	御嵩町総務部長	
亀井 孝年	御嵩町建設部長	
山田 徹	御嵩町教育参事	

4. 審査講評

御嵩町新庁舎等は、現庁舎が抱える課題を解決するだけでなく、御嵩町第五次総合計画に定める御嵩町の目指す姿である、「良好な環境を誇りとするまち」「笑顔で育ちあうまち」「みんなが支えあうまち」「多くの人が行き交うまち」「暮らしてみたいくなるまち」を実現し、御嵩町の都市拠点機能を担う施設となることが求められています。その新庁舎等に相応しい、柔軟かつ高度な設計能力、豊富な経験等を有する設計者を選定するため、公募型プロポーザルが実施されました。

評価委員会では、これまで、令和元年12月4日の申込期限までに5者の参加申込があり、令和元年12月9日に第一次審査で、技術提案書の提出者として5者すべてを選定し、令和2年2月4日に第二次審査として、5者に対してプレゼンテーション及びヒアリングを実施するとともに、テーマに対する各者の技術提案を多様な観点から審査及び評価を行いました。その結果、受注候補者として株式会社東畑建築事務所名古屋事務所を、次席者として株式会社石本建築事務所名古屋オフィスを特定しました。

5者はいずれも、豊富な設計実績を有する設計事務所であり、担当する配置予定技術者の実績も申し分なく、御嵩町の歴史や地勢、施策等をよく理解し、高いレベルの提案がなされました。

その中でも、受注候補者は、全ての評価項目で高い評価でした。特に実施体制においては、御嵩町を良く理解した木材のスペシャリスト集団による新庁舎実現のための手厚い体制がありました。また、各テーマにおいても、木構造を良く理解した的確性、独創性、実現性の非常に高い提案でした。無理のない御嵩の森”100年“を見据えた木材活用まで考えた木材調達の的確性や実現性の高い提案、木材の耐火性能、耐震性能についての独創性の高い提案があり、徹底されたコスト管理意識も高く評価されました。業務参考見積額の比較についても優位となり、総合的に高い評価となりました。

次席者についても、非常にレベルの高い、バランスの取れた提案となっていました。木材調達の考え方や、音響まで考えたホール等において、独創的で、丁寧に細かい部分まで考えられており、高い評価となりました。

最後に、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各者に心より敬意を表すとともに、感謝いたします。